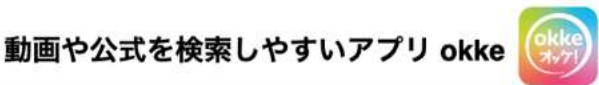


大阪大学 2022 理系第3問

正の実数 t に対し、座標平面上の 2 点 $P(0, t)$ と $Q\left(\frac{1}{t}, 0\right)$ を考える。
 t が $1 \leq t \leq 2$ の範囲を動くとき、座標平面内で線分 PQ が通過する部分を図示せよ。



線分 (直線) の通過領域の考え方

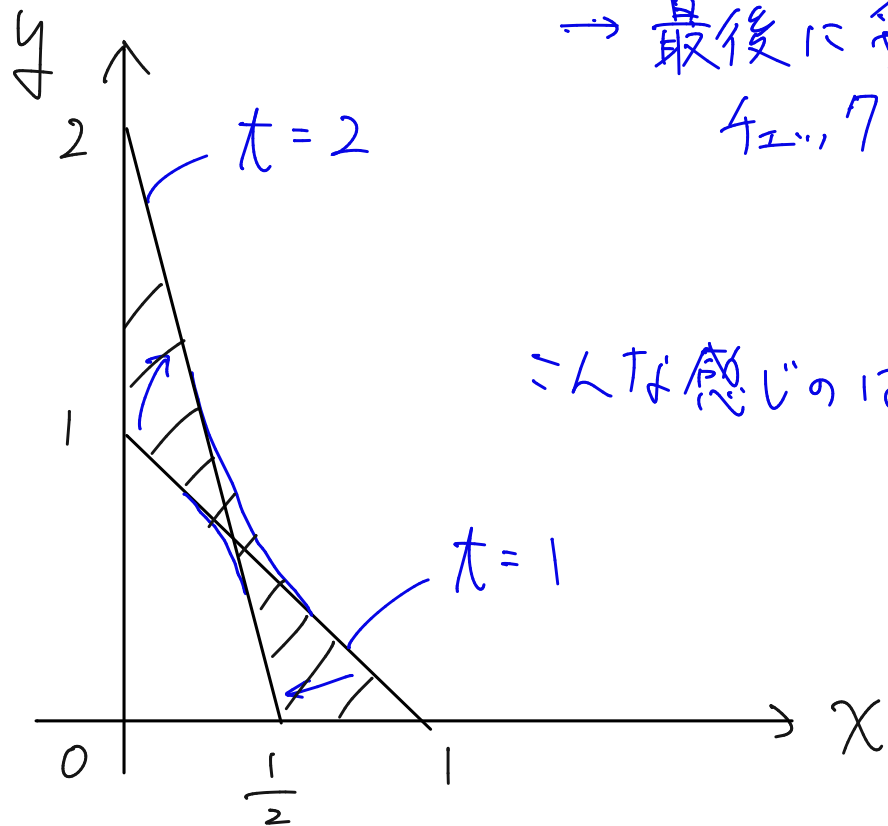
→ 良問演習 65, 66 / 100 を復習

順像法と逆像法の考え方を
マスターして、選べるように!

今回はどちらも紹介します。

まずはグラフで視覚化して捉える。

→ 最後に妥当性
チェックができる



こんな感じのはず。

考え方① 順像法で

グラフから領域上の x のとりうる値の範囲は
わかるので、 x を固定して考えられる!

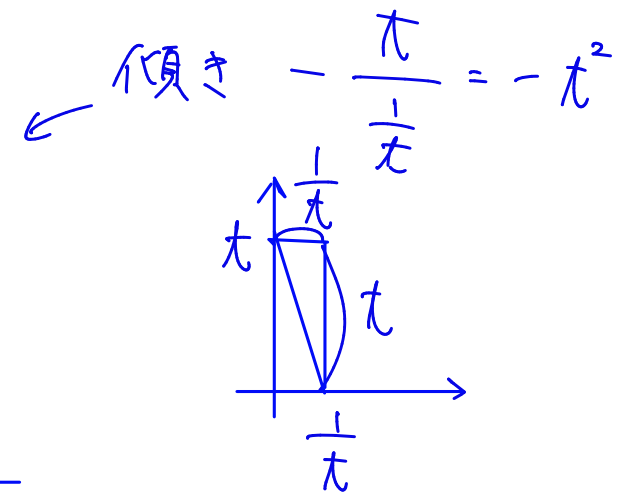
題意の領域を D とし、 D 上の点を (x, y)
とする。このときグラフから x のとりうる
値の範囲は $0 \leq x \leq 1$ であり、
 $x = k$ ($0 \leq k \leq 1$) としたときの y の
とりうる値の範囲を求める。

直線 PQ の式は

$$y = -t^2 x + t$$

より、 $x = k$ を代入して

$$y = -t^2 k + t$$



この右辺を $f(x)$ とおくと、求める y の値域は、 $f(x)$ の $1 \leq x \leq 2$ での値域のうち、 $y \geq 0$ を満たす範囲である。

「線分」 PQ は第1象限!!

あとは作業

$$f(x) = -k \left(x - \frac{1}{2k} \right)^2 \dots \text{としたいが、}$$

$k=0$ のときは (次関数で別扱!!)

(i) $k=0$ のとき、

$$f(x) = x \text{ となるので}$$

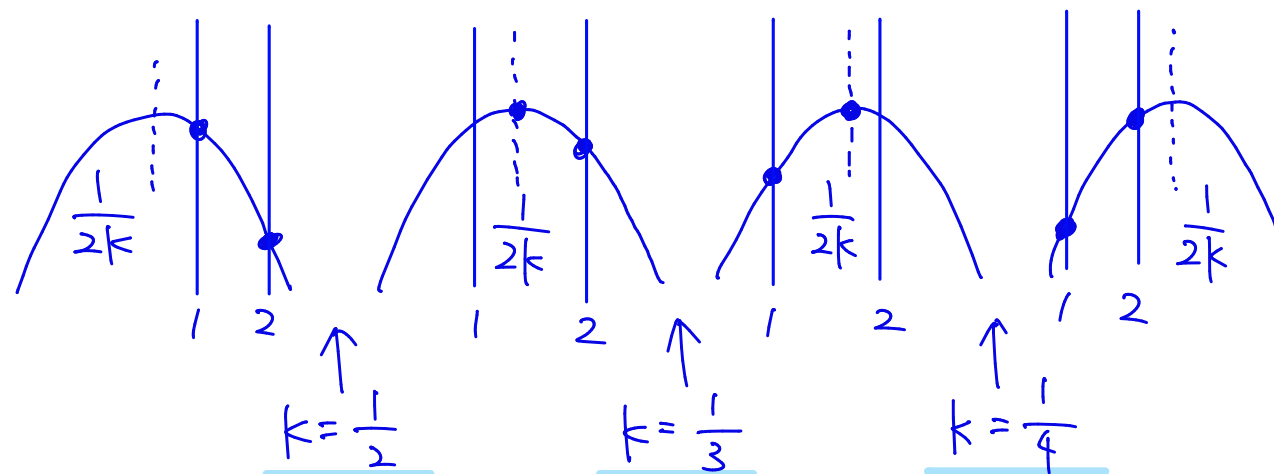
求める y の値域は $1 \leq y \leq 2$
 x を $1 \sim 2$ で動かす。
 0 以上も満たす。

(ii) $0 < k \leq 1$ のとき、

$$f(x) = \underbrace{-k}_{<0} \left(x - \frac{1}{2k} \right)^2 + \frac{1}{4k} \text{ より、}$$

以下 k の値により場合分けする。

$$0 < k \leq 1 \Leftrightarrow \frac{1}{2k} \geq \frac{1}{2}$$



max, min のパターンはこの4つ!

(A) $0 < k \leq \frac{1}{4}$ のとき、 ← 軸: $\frac{1}{2k} \geq 2$

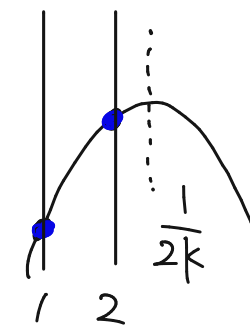
$f(x)$ の $1 \leq x \leq 2$ での値域は

$$\min \underline{f(1)} \leq f(x) \leq \underline{f(2)} \max$$

$$\Leftrightarrow -k+1 \leq f(x) \leq -4k+2$$

となり、 0 以上となるので、求める

y の値域は $\underline{-k+1 \leq y \leq -4k+2}$

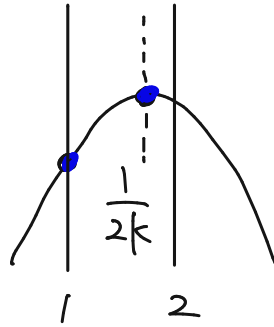


(イ) $\frac{1}{4} < k \leq \frac{1}{2}$ のとき、 ← 軸: $\frac{3}{2} \leq \frac{1}{2k} < 2$

$f(x)$ の $1 \leq x \leq 2$ での値域は

$$\min f(1) \leq f(x) \leq f\left(\frac{1}{2k}\right) \max$$

$$\Leftrightarrow -k+1 \leq f(x) \leq \frac{1}{4k}$$



となり、0以上となるので、求める

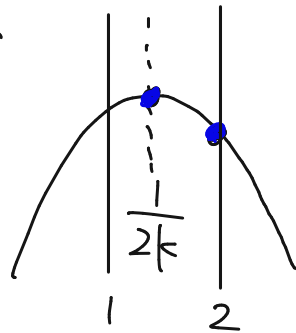
y の値域は $-k+1 \leq y \leq \frac{1}{4k}$

(ウ) $\frac{1}{3} < k \leq \frac{1}{2}$ のとき、 ← 軸: $1 \leq \frac{1}{2k} < \frac{3}{2}$

$f(x)$ の $1 \leq x \leq 2$ での値域は

$$\min f(2) \leq f(x) \leq f\left(\frac{1}{2k}\right) \max$$

$$\Leftrightarrow -4k+2 \leq f(x) \leq \frac{1}{4k}$$



となり、0以上となるので、求める

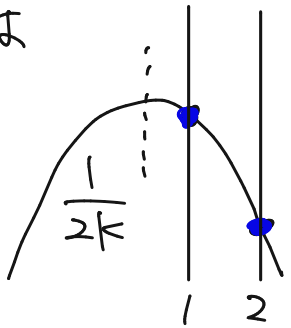
y の値域は $-4k+2 \leq y \leq \frac{1}{4k}$

(エ) $\frac{1}{2} < k \leq 1$ のとき、 ← 軸: $\frac{1}{2k} < 1$

$f(x)$ の $1 \leq x \leq 2$ での値域は

$$\min f(2) \leq f(x) \leq f(1) \max$$

$$\Leftrightarrow -4k+2 \leq f(x) \leq -k+1$$

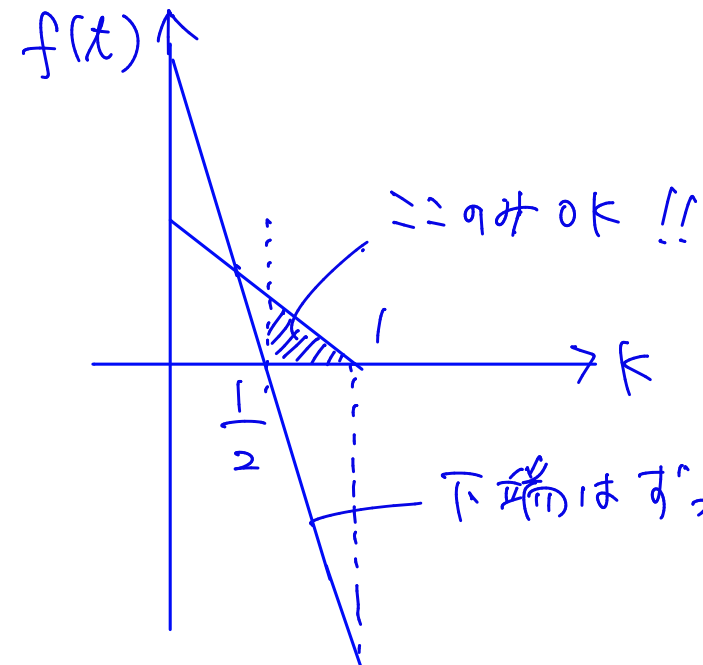


となり、 $\frac{1}{2} < k \leq 1$ のもとで

$-4k+2 < 0$, $-k+1 \geq 0$ となるので、

求める y の値域は $0 \leq y \leq -k+1$

0以上のみ!!



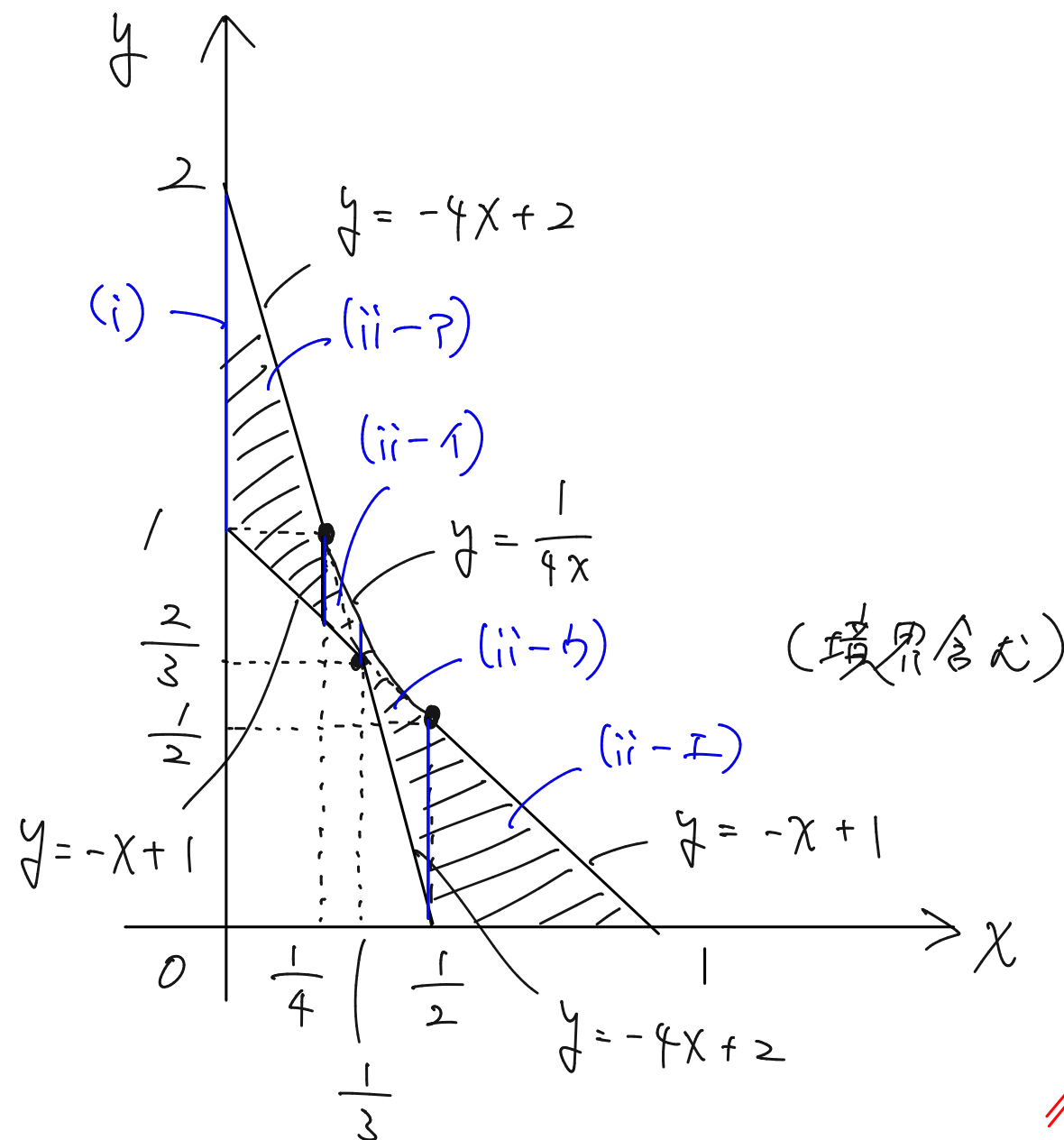
以上 (i)(ii) をまとめて、 t を x に変えると、
領域 D の式は

$$\left\{ \begin{array}{ll} x=0 \text{ のとき} & 1 \leq y \leq 2 \\ 0 < x \leq \frac{1}{4} \text{ " } & -x+1 \leq y \leq -4x+2 \\ \frac{1}{4} < x \leq \frac{1}{3} \text{ " } & -x+1 \leq y \leq \frac{1}{4x} \\ \frac{1}{3} < x \leq \frac{1}{2} \text{ " } & -4x+2 \leq y \leq \frac{1}{4x} \\ \frac{1}{2} < x \leq 1 \text{ " } & 0 \leq y \leq -x+1 \end{array} \right.$$

となる。

これを図示すると以下の通り。

★連続しているか、
最初の考察通り 妥当なものに
なっているか。 注意！



考え方② 逆像法で

線分が領域上の (X, Y) を通るような τ が $1 \leq \tau \leq 2$ に存在するかで考える。

題意の領域を D とし、 D 上の点を (X, Y) とする。線分 PQ の式は

$$\begin{cases} Y = -\tau^2 X + \tau \\ X \geq 0 \\ Y \geq 0 \end{cases}$$

と表せるので、

$$\begin{cases} Y = -\tau^2 X + \tau \\ X \geq 0 \\ Y \geq 0 \end{cases}$$

← 線分が (X, Y) を通る

を満たす τ が $1 \leq \tau \leq 2$ に存在するような、
 (X, Y) についての必要十分条件 を求める。

つまり、 $X \geq 0, Y \geq 0$ のもと、
 τ 関係ない

$X\tau^2 - \tau + Y = 0 \dots (*)$ が $1 \leq \tau \leq 2$ に 実数解
をもつような (X, Y) の必要十分条件を求める。

2次方程式の解の配置問題に帰着!!
($X=0$ は例外)

(i) $X=0$ のとき、

$(*)$ は $-\tau + Y = 0$

$\tau = Y$ となるので、

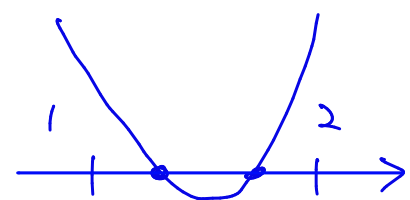
$1 \leq Y \leq 2$ が必要十分。 $\rightarrow 1 \leq \tau \leq 2$ に
実数解もつ

(ii) $X > 0$ のとき、

$(*)$ は $X \left(\tau - \frac{1}{2X} \right)^2 - \frac{1}{4X} + Y = 0$ となる。

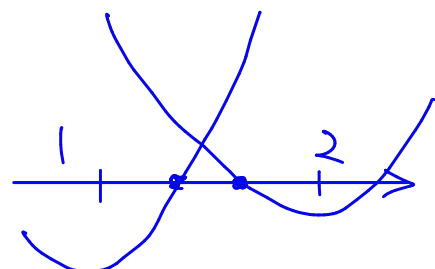
この左辺を $g(\tau)$ とおく。

$g(x)=0$ が $1 \leq x \leq 2$ に 実数解をもつ ような
必要十分条件は、 $x > 0$ のもと



軸 & D & 端点

or



端点の積 ≤ 0

$$\begin{cases} 1 \leq \frac{1}{2x} \leq 2 \\ -\frac{1}{4x} + y \leq 0 \\ \frac{1}{4x} \leq y \end{cases} \quad \leftarrow \text{頂点の } y$$

$$\begin{cases} g(1) = x - 1 + y \geq 0 \\ g(2) = 4x - 2 + y \geq 0 \end{cases}$$

又は $g(1)g(2) \leq 0$

$\Downarrow$
 $g(1) \geq 0$ か $g(2) \leq 0$
 又は
 $g(1) \leq 0$ か $g(2) \geq 0$

$$\Leftrightarrow \begin{cases} \frac{1}{4} \leq x \leq \frac{1}{2} \\ y \leq \frac{1}{4x} \\ y \geq -x + 1 \\ y \geq -4x + 2 \end{cases}$$

又は $\begin{cases} y \geq -x + 1 \\ y \leq -4x + 2 \end{cases}$

又は $\begin{cases} y \geq -4x + 2 \\ y \leq -x + 1 \end{cases}$

よって、求める領域 D の式は、

$x \geq 0, y \geq 0$ のもと、 **大前提!**

① $\begin{cases} \frac{1}{4} \leq x \leq \frac{1}{2} \\ y \leq \frac{1}{4x} \\ y \geq -x + 1 \\ y \geq -4x + 2 \end{cases}$

又は $\begin{cases} y \geq -x + 1 \\ y \leq -4x + 2 \end{cases}$ ②

又は $\begin{cases} y \geq -4x + 2 \\ y \leq -x + 1 \end{cases}$ ③

となるので、
図示すると、

